

Chaetoceros rotoporus (RS確認)と*C. distans*に関して

本種は、Yang LiやNina landholm2013年に詳細な論文を掲載しています。

栄養細胞は、*Chaetoceros distans*に酷似するため、日本での分析結果では、普通に*distans*として報告されておりました。

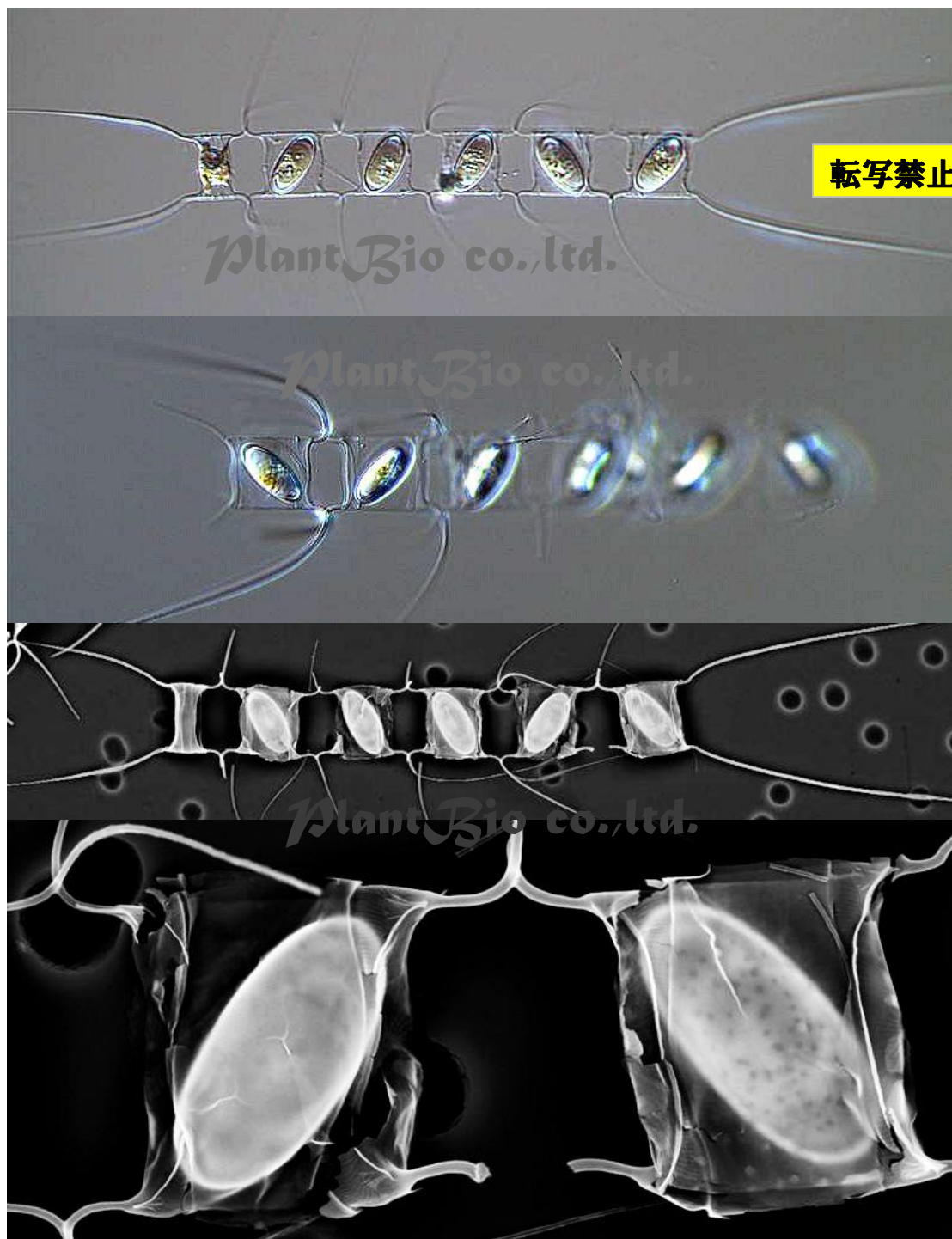
しかし、この2種は、休眠孢子(以降RS)の形状のが全く異なり、図鑑にもあるように*rotoporus*は楕円形で表面は、なめらかであり、*distans*は、上殻下殻に著しく長い棘が複数あり両者は全く異なります。

図鑑で、*distans*の遺伝子としてQRコードでリンクしている内容は、*rotoporus*と100%一致している為、誤りでした。(お詫び訂正致します)

===現在登録済み遺伝子の修正作業中です。===

2025年9月18日に相模湾にて、*Chaetoceros rotoporus*のRSがネットサンプルに複数入り単離培養しています。

*distans*のRSが見つかり次第、これも培養しますので、再度遺伝子解析結果は少々お待ちください！



休眠孢子より出芽した細胞 (2025.09.27)

